平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	商業科教育法(Commercial Education)			授業コード	K002401
担当教員名	吉本　圭一郎			科目ナンバリングコード	E20401
配当学年	3	開講期	通年		
必修・選択区分	教職関係科目(必修) 高等学校教諭一種免許状(商業)	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	高等学校教諭一種免許状(商業)の必修科目です。商業科の教職に就こうという強い意思をもって履修してください。				
受講心得	講義には必ず出席してください。				
教科書	『教職必修　最新商業科教育法　新訂版』日本商業教育学会編著(実教出版) 『高等学校学習指導要領解説　商業編』(最新版)				
参考文献及び指定図書	講義中に適宜指示します。				
関連科目	簿記入門, 簿記原理, 会社簿記, 原価計算論, 財務諸表論, 管理会計論A・B, 経営学入門, 等				

授業の目的	本授業では, わが国における商業教育の歴史や近年の教育改革の動向, 学習指導要領の内容等を学習するとともに, 模擬授業を通じて授業の実践力を涵養することを目的とします。そして将来, 商業科教員として身につけておくべき資質・能力や知識, 技術の習得を目指します。
授業の概要	はじめに商業教育の必要性と意義を学び, わが国の商業教育の歩みをたどります。次に高等学校学習指導要領商業編に基づき, 商業教育全般についての理論と実践を学習します。具体的には, 教科「商業」に関する各科目の目標や内容, 指導方法, 等についての理解を深め, 将来商業教育に携わる教師としての資質・能力の育成に努めます。さらに実践的指導力の基礎を養成するため, 情報機器及び教材の活用についても学習したうえで, 受講生による教科「商業」の模擬授業を実施します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 授業ガイダンス, 商業教育の必要性と意義 シラバスを用いてこの授業の進め方を説明します。また, 学習指導要領に基づいて商業教育の必要性と意義についても学習します。	配布レジュメ「商業教育の必要性と意義」を復習する(1時間)。
第 2 週 : わが国の商業教育の歩み(1)新制商業教育の開始以前 わが国の商業科教育の歴史について江戸時代から太平洋戦争前までを概説します。	配布レジュメ「新制商業教育の開始以前」を復習する(1時間)。
第 3 週 : わが国の商業教育の歩み(2)学習指導要領(試案)以降 わが国の商業科教育の歴史について太平洋戦争後から現代までを概説します。	配布レジュメ「学習指導要領試案以降」を復習する(1時間)。
第 4 週 : 学習指導要領・改訂の趣旨と要点 文部科学省による学習指導要領に基づいて, 商業教育の改訂内容を概説します。	配布レジュメ「学習指導要領・改訂の趣旨と要点」を復習する(1時間)。
第 5 週 : 学習指導要領・教科「商業」の目標	配布レジュメ「学習指導要領・教科「商業」の目標」を復習する(1時間)。

文部科学省による学習指導要領に基づいて，教科「商業」の目標と組織を概説します。	
第 6 週 ： 学習指導要領・教科「商業」の指導内容と指導方法 文部科学省による学習指導要領に基づいて，教科「商業」の指導内容と指導方法を概説します。	配布レジュメ「学習指導要領・教科「商業」の指導内容と指導方法」を復習する(1時間)。
第 7 週 ： 学習指導要領・教科「商業」の科目構成 文部科学省による学習指導要領に基づいて，教科「商業」の科目構成を概説します。	配布レジュメ「学習指導要領・教科「商業」の科目構成」を復習する(1時間)。
第 8 週 ： 学習指導要領・商業に関する学科の内容(1)基礎的科目 「ビジネス基礎」の基本的概念に関する項目を概説し，実社会との関連性についても学習します。	配布レジュメ「基礎的科目」を復習する(1時間)。
第 9 週 ： 学習指導要領・商業に関する学科の内容(2)マーケティング分野 マーケティング分野に関する科目を概説し，実社会との関連性についても学習します。	配布レジュメ「マーケティング分野」を復習する(1時間)。
第10週： 学習指導要領・商業に関する学科の内容(3)ビジネス経済分野 ビジネス経済分野に関する科目を概説し，実社会との関連性についても学習します。	配布レジュメ「ビジネス経済分野」を復習する(1時間)。
第11週： 学習指導要領・商業に関する学科の内容(4)会計分野 会計分野に関する科目を概説し，資格取得や実社会との関連性についても学習します。	配布レジュメ「会計分野」を復習する(1時間)。
第12週： 学習指導要領・商業に関する学科の内容(5)ビジネス情報分野と総合的科目 ビジネス情報分野に関する科目と総合的科目を概説し，実社会との関連性についても学習します。	配布レジュメ「ビジネス情報分野と総合的科目」を復習する(1時間)。
第13週： 指導計画と授業展開(1)教育課程と学習指導，指導計画，指導方法 教育課程と指導計画，学習指導の意義，教材の研究，指導計画の意味や内容，指導形態，指導方法，等について学習します。	配布レジュメ「教育課程と学習指導，指導計画，指導方法」を復習する(1時間)。
第14週： 指導計画と授業展開(2)年間指導計画作成，学習指導案作成 年間指導計画作成の留意点，年間指導計画の記載内容，学習指導案作成のための準備，学習指導案の記載内容や形式，学習指導と観点別評価，等について学習します。	配布レジュメ「年間指導計画作成，学習指導案作成」を復習する(1時間)。
第15週： 指導計画と授業展開(3)プレゼンテーションと授業 板書の必要性とその方法，解説の重要性とその方法，模擬授業と授業観察，等について学習します。	配布レジュメ「プレゼンテーションと授業」を復習する(1時間)。
第16週： 後期授業の進め方，模擬授業割り当て	配布レジュメと各自担当内容を復習する(1時間)。

後期授業のガイダンスを行います。また模擬授業の分担や各自の役割を説明します。	
第17週： 模擬授業の準備(1)教材研究，特に電子黒板など情報機器及び教材の活用方法 商業科教育における指導能力の醸成を図るため，その基礎となる教材研究について説明します。そしてまた，電子黒板などの情報機器や教材の活用方法について学習します。	配布レジュメ「教材研究」を復習する(1時間)。
第18週： 模擬授業の準備(2)指導案作成 商業科教育における指導能力の醸成を図るため，その基礎となる指導計画の作成を説明します。	配布レジュメ「指導案作成」を復習する(1時間)。
第19週： 模擬授業「簿記」(1)簿記の基本 模擬授業を実践するため，担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い，その評価，改善点等についてディスカッションします。	模擬講義の精度向上のため，「簿記の基本」の指導案，板書計画等の添削指導を行う(2時間)。
第20週： 模擬授業「簿記」(2)各種取引の処理 模擬授業を実践するため，担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い，その評価，改善点等についてディスカッションします。	模擬講義の精度向上のため，「各種取引の処理」の指導案，板書計画等の添削指導を行う(2時間)。
第21週： 模擬授業「簿記」(3)決算 模擬授業を実践するため，担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い，その評価，改善点等についてディスカッションします。	模擬講義の精度向上のため，「決算」の指導案，板書計画等の添削指導を行う(2時間)。
第22週： 模擬授業「簿記」(4)財務諸表の作成 模擬授業を実践するため，担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い，その評価，改善点等についてディスカッションします。	模擬講義の精度向上のため，「財務諸表の作成」の指導案，板書計画等の添削指導を行う(2時間)。
第23週： 模擬授業「簿記」(5)会計帳簿 模擬授業を実践するため，担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い，その評価，改善点等についてディスカッションします。	模擬講義の精度向上のため，「会計帳簿」の指導案，板書計画等の添削指導を行う(2時間)。
第24週： 模擬授業のふりかえり これまでの模擬授業をふりかえり，今後の課題についてもディスカッションをおこないます。	復習として「模擬授業の振り返り」についてレポート作成(1時間)
第25週： 商業教育と人間形成(1)育成したい生徒像 「生きる力」の育成，人間関係形成能力の育成，倫理観の育成，等について講義します。	配布レジュメ「育成したい生徒像」を復習する(1時間)。
第26週： 商業教育と人間形成(2)商業教育と特別活動，商業教育と生徒指導	配布レジュメ「商業教育と特別活動，商業教育と生徒指導」を復習する(1時間)。

学級・ホームルーム経営，生徒会活動の指導，学校行事の指導，部活動の指導，商業教育と特別活動，生徒指導の意義，生徒指導の内容と展開，等について講義します。	
第27週： 商業教育と人間形成（3）商業教育と進路指導・キャリア教育 進路指導の意義や内容，新卒高卒者に対する職業紹介の根拠法規，採用のルール，キャリア教育の推進，等について講義します。	配布レジュメ「商業教育と進路指導・キャリア教育」を復習する(1時間)。
第28週： 商業科教師への期待 新しい時代における教師の在り方，商業科教員に期待されること，等について講義します。	配布レジュメ「商業科教師への期待」を復習する(1時間)。
第29週： 商業科教育の課題と展望 魅力ある商業教育を目指して，確かな学力の育成，商業教育の理解と啓発，等について講義します。	配布レジュメ「商業科教育の課題と展望」を復習する(1時間)。
第30週： 講義のまとめ これまでの講義の総括を行います。	これまでのまとめとして「振り返りレポート」を作成する（1時間）
第31週： 期末試験 30回までの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分，筆記用具以外は持ち込み不可とします。	試験問題，解答例。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	・商業教育の必要性と意義を理解し，説明することができる。
【知識・理解】	・わが国の商業教育の歴史や学習指導要領の変遷について述べることができる。 ・教科「商業」の目標及び組織について説明することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	・学習指導要領に基づいた学習指導案の作成ができ，実践的指導力の基礎を身につけている。
【思考・判断・創造】	・商業教育における人間性の大切さを理解し，述べることができる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**15点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**60点**			

【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**15点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**10点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	模擬授業実施のために作成する指導案，板書計画，発問書，練習問題，解答等の内容により加点します。Sレベル：達成目標を満たしている。Aレベル：ほぼ満たしている。Bレベル：なんとか満たしている。Cレベル：一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	授業中に適宜質問をします。優れた解答をした学生は，記録して加点することがあります。